



明治時代

ストーリーでわかる！



高校入試のための重要ポイント総まとめ

なぜ「新しい国」が必要だったのか？ - 明治維新、始まりの舞台裏

- **国内の危機：**

江戸幕府の力が衰え、国内は混乱状態。



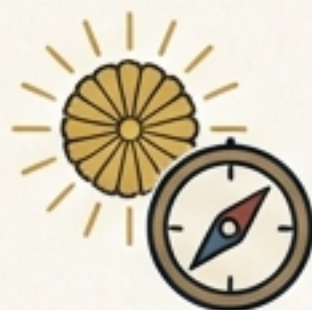
- **国外の脅威：**

欧米列強が日本に接近。不平等条約を結ばされ、植民地にされる恐怖があった。



- **新しい目標：**

薩摩藩（さつまはん）・長州藩（ちょうはん）などを中心に、「天皇を中心とした新しい近代国家」をつくり、外国の脅威に対抗しようとする動きが始まる。これが**明治新（めいじいしん）**の出発点となる。



① 国のカタチを創る - バラバラな日本を一つに

新政府の中心は、幕府を倒した薩摩・長州出身者たち。これを**藩閥政治（はんぱつせいじ）**と呼ぶ。

第一步：版籍奉還（はんせきほうかん）（1869年）

- 全国の藩主に、土地（版）と人民（籍）を朝廷（天皇）に返させる。

決定打：廃藩置県（はいはんちけん）（1871年）

- 全国の「藩」を廃止し、政府が役人を派遣して直接治める「県」を設置。
- これにより、日本は初めて統一された**中央集権国家**となった。



② 国を強くする - 「富国強兵」と「殖産興業」

スローガン：

- **富国強兵**（ふこくきょうへい）：経済を発展させて国を豊かにし、軍隊を強くする。
- **殖産興業**（しよくさんこうぎょう）：政府が主導して近代産業を育てる。
例：官営の**富岡製糸場**（とみおかせいしじょう）を設立。



国の土台を作る三大改革（入試頻出！）

学制（がくせい）



全国の国民が教育を受けられるように小学校を設置。

徴兵令（ちょうへいれい）



国民から兵士を集め、近代的な軍隊を創設。

地租改正（ちそかいせい）



税を米から現金（地価の3%）で納めるように変更。これにより政府は安定した収入を確保できた。

③ 社会が変わる - 「文明開化」の光と影

光

西洋文化の流入 (光):

- **生活の変化:** 洋服、ガス灯、太陽暦の採用、牛肉食の習慣など。
- **新しい思想:** 福沢諭吉(ふくざわ ゆきち)が『学問のすすめ』で個人の独立と平等を説く。



影

近代化の代償 (影):

- 急速な工業化は**公害問題**も引き起こした。
- 例: **足尾銅山鉍毒事件**(あしおど びす)では、鉍毒が川に流れ込み、深刻な被害をもたらした。



④ 国民の声が動き出す - 藩閥政治への二つの反発

薩摩・長州出身者が政治を独占する藩閥政治への不満が高まる。

A) 言論で戦う道：自由民権運動



- 政府を去った板垣退助（いたがきたいすけ）が開始。
- 民選議院設立建白書を提出し、「国民が選挙で代表者を選び、議会を開くべきだ」と主張。土佐で立志社（りっししゃ）を結成。

B) 武力で戦う道：士族の反乱



- 同じく政府を去った西郷隆盛（さいごうたかもり）が、新政府に不満を持つ士族を率いて反乱。
- 西南戦争（せいなんせんそう）（1877年）を起こすが、政府軍に敗北。

⑤ 国のルールを決める - 大日本帝国憲法の制定

背景：

自由民権運動の高まりを受け、政府は国会開設を約束。
その前に国の基本ルールである憲法を制定することに。

中心人物：

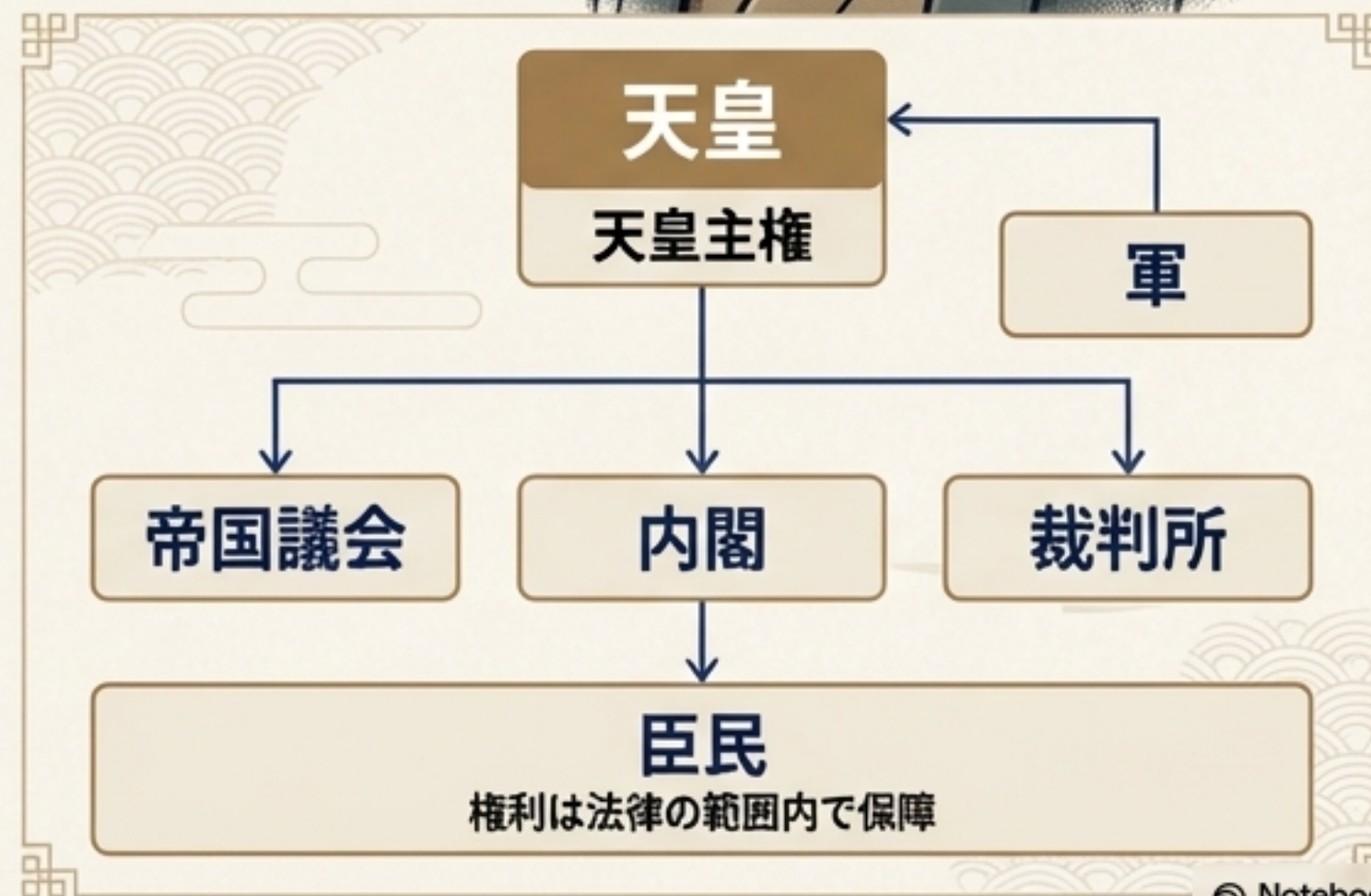
伊藤博文（いとうひろふみ）がヨーロッパへ渡り、
特にドイツの憲法を参考にして草案を作成。

制定：

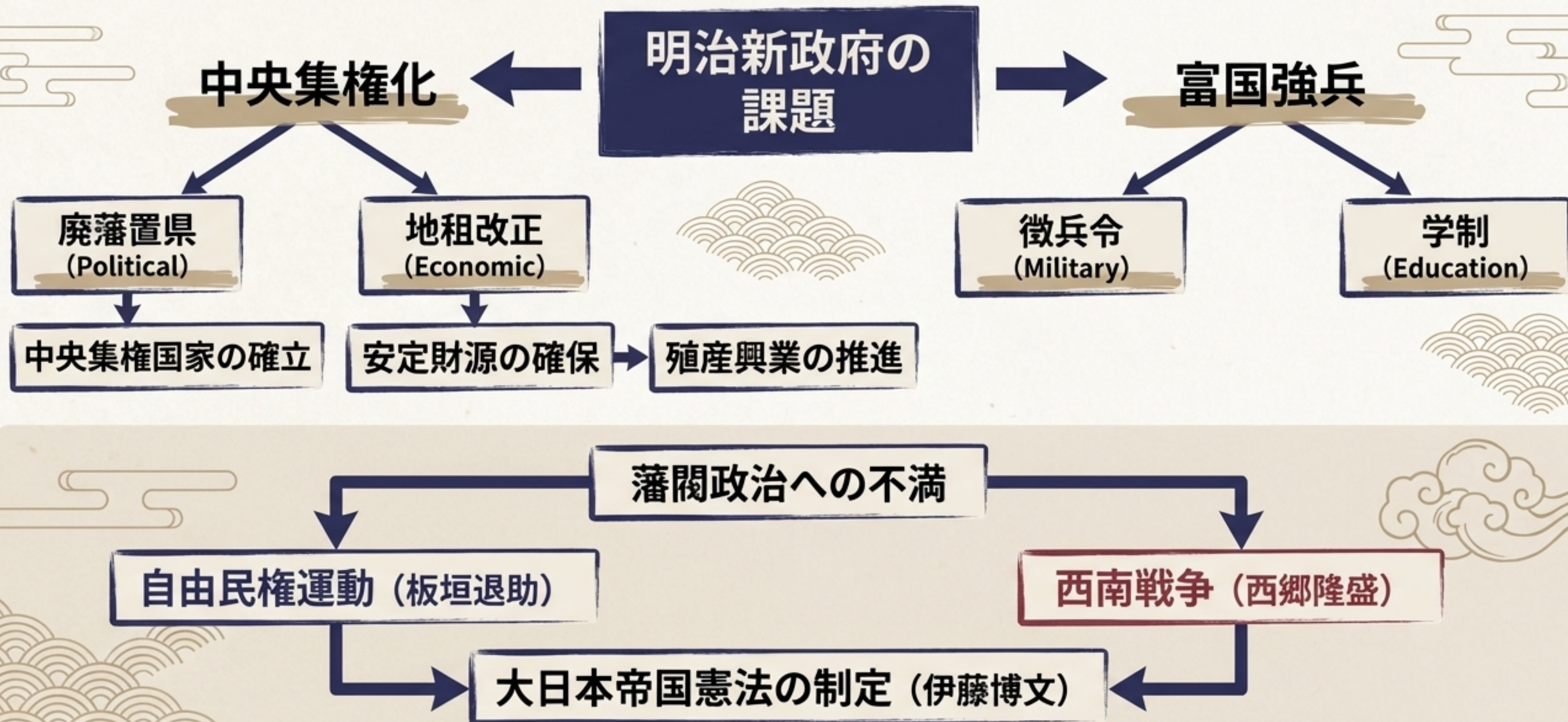
1889年2月11日に**大日本帝国憲法**
（だいにほんていこくけんぽう）が發布される。

結果：

伊藤博文が初代**内閣総理大臣**に就任。
翌年、**帝国議会**（ていこくぎかい）が開かれた。



【中間チェック①】 国内改革 まるわかりマップ



⑥ 世界へ - 不平等条約改正への長い道のり

目標：幕末に結ばされた不平等条約を改正し、欧米列強と対等な立場になること。

- 治外法権の撤廃（外国人が日本で罪を犯しても、日本の法律で裁けない権利）
- 関税自主権の回復（輸入品にかかる関税を、日本が自由に決められない）



完全達成

1911年:
関税自主
主権の
完全回復



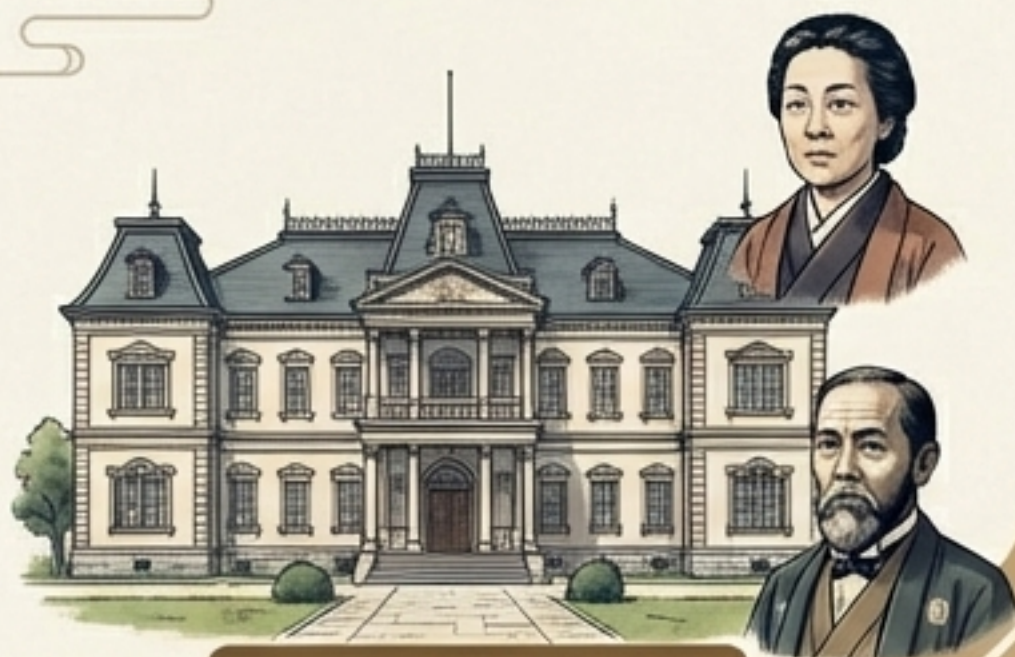
成功①

1894年:
治外法権の撤廃



転機

- ノルマントン号事件をきっかけに国民の関心が高まる。



挑戦と失敗

- 岩倉使節団、鹿鳴館外交も失敗に終わる。

⑦ アジアの覇権をめぐる - 日清・日露戦争

日清戦争（にっしんせんそう）（1894-95年）

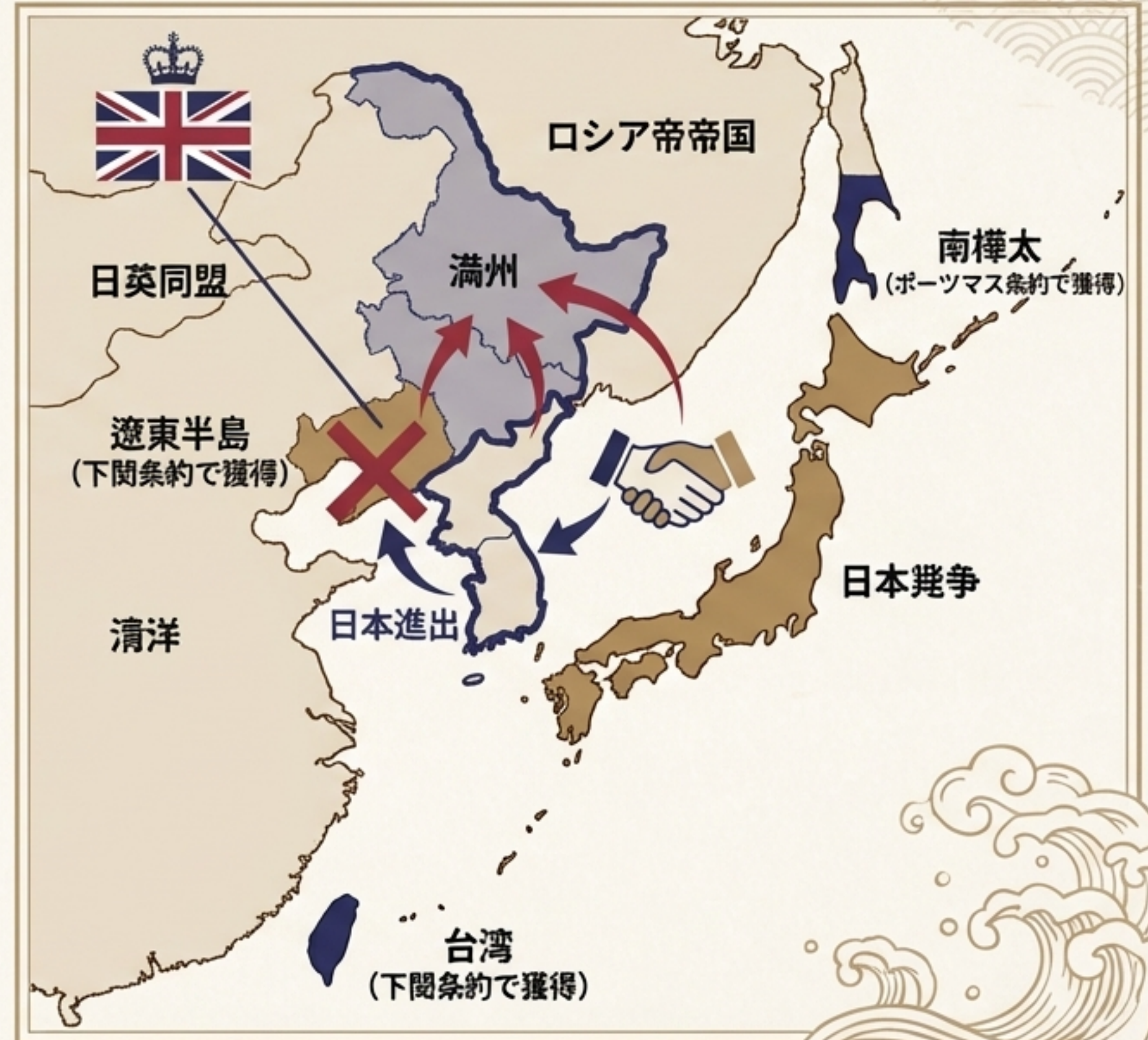
- 原因：朝鮮をめぐる清との対立（きっかけは**甲午農民戦争**）。
- 結果：日本勝利。**下関条約**を結ぶが、**三国干渉**で遼東半島を返還。

日英同盟（にちえいどうめい）（1902年）

- ロシアの南下に対抗するため、イギリスと軍事同盟を結ぶ。

日露戦争（にしろせんそう）（1904-05年）

- 原因：朝鮮・満州をめぐるロシアとの対立。
- 結果：日本勝利。**ポーツマス条約**を結ぶ。
日本は「**列強**」の一員として認められる。



⑧ 強国になった日本の光と影

光（国力の増強と国際的地位の向上）



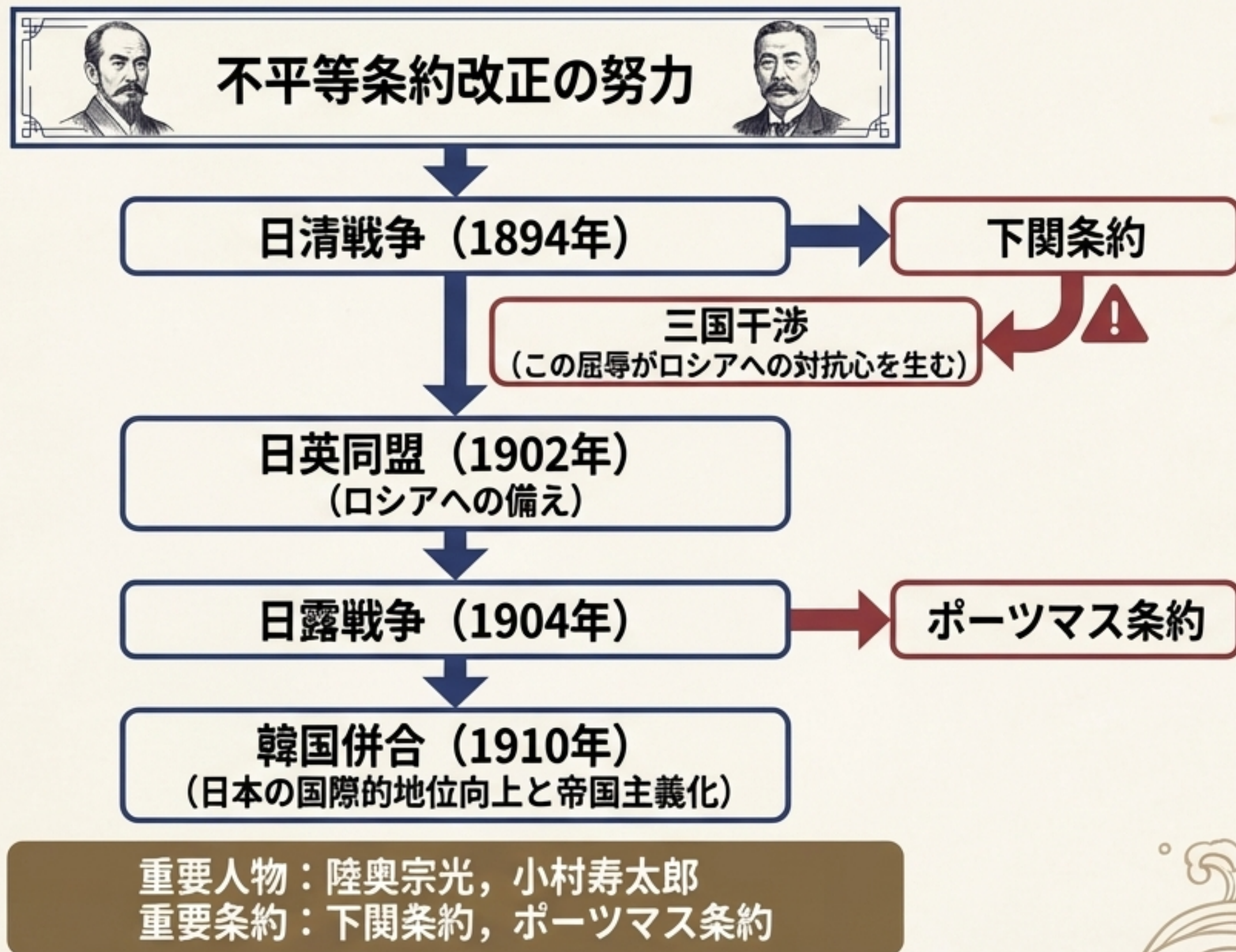
- 日清戦争で得た賠償金を元に、福岡県に**八幡製鉄所**（やはたせいてつしょ）を建設。日本の重工業が大きく発展した。
- 日露戦争の勝利で、世界における日本の地位が向上した。

影（帝国主義への道と国内の不満）



- **韓国併合**（かんこくへいごう）（1910年）：軍事力を背景に、朝鮮を日本の植民地とした。
- **日比谷焼き討ち事件**：日露戦争のポーツマス条約で賠償金が得られなかったことに不満を持つ国民が暴動を起こした。

【中間チェック②】 対外関係の重要イベントマップ



最重要人物をチェック！この顔と名前、覚えてる？

政治



国民運動



外交



文化・思想



最後の腕試し！入試頻出キーワード20

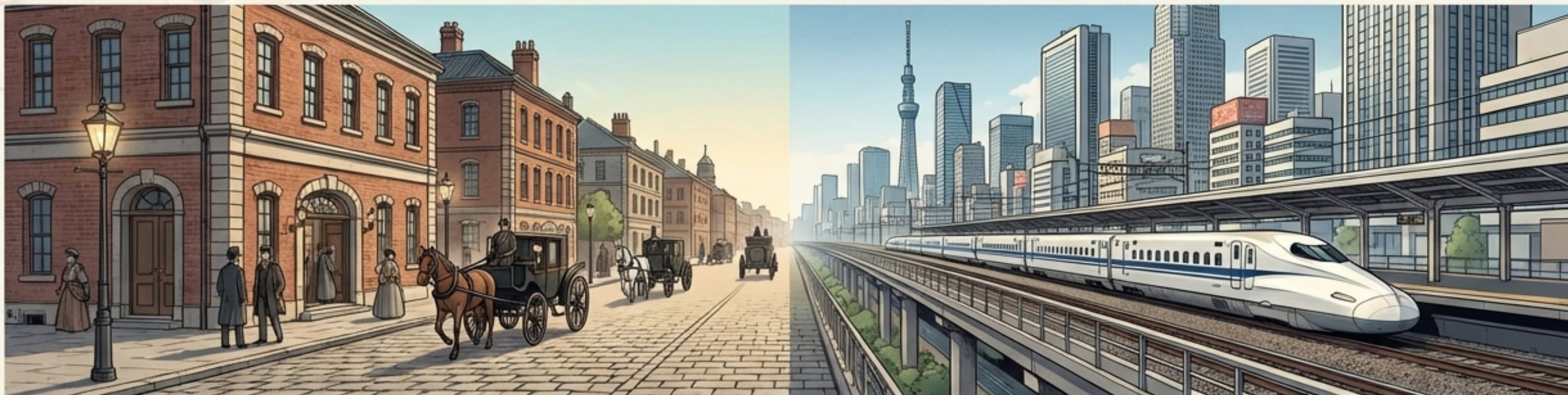
これだけは押さえておきたい最重要キーワードのチェックリスト。一言で説明できるか試してみよう！

- ☐ 藩閥政治
- ☐ 廃藩置県
- ☐ 富国強兵
- ☐ 地租改正
- ☐ 文明開化
- ☐ 福沢諭吉
- ☐ 自由民権運動
- ☐ 板垣退助
- ☐ 西南戦争
- ☐ 西郷隆盛

- ☐ 大日本帝国憲法
- ☐ 伊藤博文
- ☐ 不平等条約改正
- ☐ 陸奥宗光
- ☐ 日清戦争
- ☐ 下関条約
- ☐ 三国干渉
- ☐ 日露戦争
- ☐ ポーツマス条約
- ☐ 韓国併合

まとめ：明治時代が現代の私たちに遺したもの

総括： わずか数十年で、封建的な社会から近代国家へと劇的な変貌を遂げた時代。



功績（プラスの側面）：

- 欧米列強の植民地化を免れ、国の独立を守った。
- 議会政治や近代産業など、現代日本の基礎を築いた。

課題（マイナスの側面）：

- 「富国強兵」の行き着いた先は、アジアへの侵略と軍国主義であり、後の戦争へとつながっていった。

メッセージ：歴史を学ぶことは、現代の日本や世界を理解するための重要なヒントになります。受験勉強、頑張ってください！